



神内小だより

紀宝町立神内小学校
令和5年9月27日発行

「すべての子どもが互いに認め合い、安心して夢中に学び合える学校」

★『命を守る学習～地震発生を想定し避難訓練～』★

今回の命を守る学習（避難訓練）は、訓練の日時を子ども達に予告せず、休み時間に地震が発生したと想定して実施しました。

訓練後、次の5点を振り返りました。

<地震（訓練）が発生した時>

- ①「どこにいて」
- ②「どんな行動をとったか」
- ③「どんな気持ちになったか」
- ④「どんな気づきがあったか」
- ⑤「今後自分ができることは何か」

<家族へのメッセージ>

家でも防災ずきんほしい。学校の上
に集合ね！

<家族へのメッセージ>

もし本当に地震が起こったら、頭を
守って置いてね。

<家族へのメッセージ>

地震がどっかでおきたらこうするよととかの話をしよう。

<家族へのメッセージ>

これをぜったい約束して。防災グッズとたなど
か固定するやつと家族みんなの防災ずきん用
意してほしい。

<家族へのメッセージ>

ダンゴ虫ポーズできたよ。こわかった
けど、がんばった。ママもしてね。

外で遊んでいた子、トイレ・廊下・保健室等にいた子、教室にはいたが自分の机が近くになかった子、防災頭巾がない所にいた子…等、様々な場所・状況の中でのいきなりの地震発生訓練に、「あせった。」「こわかった。」「急な放送に、びっくりした。」「緊張した。」「不安だった。」と緊張感のある訓練になりました。だからこそ、自分の命を守るためにはどんな行動をすればよいか、考える機会になりました。

また、先日子ども達から各家庭の方へ<家族へのメッセージ>が届けられたと思います。この訓練を通して考えた子ども達の気づきを『自分の大切な家族にも命を守る行動をしてほしい』という願いに込めて、一人ひとりが書いたのもです。各ご家庭でもこれを機に、「どう命を守るか』『命を守る行動』について話し合っていたいただき、子どもも大人もいざというときに判断して行動できる力をつけていきましょう！



＊4年生紀宝町防災拠点の施設見学

(9/21)

紀伊半島大水害の様子や水害・地震に備えた町の取組や命を守るためにすべきこと（ふだんの備えと災害時の行動）について学習しました。



9/15(金)公開授業研究会を実施しました！3年生「算数」

～「すべての子どもが互いに認め合い、安心して夢中に学び合える学校」をめざして～

◆國學院大学教授の齋藤智哉先生を講師に迎え、午前中は全学年の授業の様子を観ていただき、5限目は提案授業として3年生算数『大きい数のかけ算のしかたを考えよう』を公開しました。落ち着いた雰囲気の中に安心感が感じられ、どの子も最後まであきらめなくて集中して学び続ける姿がありました。この授業では、3位数×1位数の計算の仕方について既習の学習をもとに考え説明できることをめあてとし、問題文の場面を絵や図に表しながら立式し、計算の仕組みを考えていきました。子ども達は、日常的にタイルを活用し量感を感じながら学習を進めています。今回はタブレットを用いて絵や図、タイル操作をして考えていきました。タブレットを活用したときの効果と手や鉛筆を使った具体的操作の有効性など、子ども達の思考の様子から今後の学習を考える機会となりました。子ども達が聴き合いながら深く学び、学習が定着していくことをめざして今後も授業を進めていきます。



10月



- *10/ 2(月):街頭指導
- *10/ 5(木):お話し会、子ども会集会
- *10/10(火):スクールカウンセラー来校(終日)
- *10/11(水):街頭指導
- *10/12(木)13(金):修学旅行(6年生)
- *10/17(火):食育指導(3・4年生)

矢淵中校区子ども支援ネットワーク事業「タウンウォッチング」(6年生)

- *10/20(金):街頭指導・秋の遠足(1~4年生)
- *10/24(火):スクールカウンセラー来校(AM)
- *10/25(水):集金袋配付(予定)
- *10/26(木):物語ライブ・後期子ども会立会演説会
- *10/27(金):防災学習会(5年生)
- *10/30(月):秋の遠足予備日



【8月29日 通学路合同点検を実施しました!】

県道141号線関係では県熊野建設事務所、町道関係では紀宝町役場の方々、そして神内見守りサポーター兼神内小学校運営協議会会長の登立さんにも同行していただき、通学路の危険箇所についての合同点検を実施しました。昨年度の合同点検後も各関係機関で改善し整備していただきましたが、今年度も保護者や見守りサポーターの方々、そして教職員へ事前に危険箇所のアンケートを実施し、以下の8か所について、現状を確認し要望を伝え、より安全な改善に向けての要請をお願いしました。

子ども達の安全に向けての整備・改善・見守り…、様々な方々にお世話になっています。子ども達自身が交通安全や防犯に気をつけ安全に登校できるよう学校でも引き続き学習していきます。各ご家庭でも子ども達の登下校の様子について話題にいただき、自分自身の命を守る行動や見守り等を含めた地域の方々への感謝の気持ちをとともに考えていただけたらと思います。

- ① 県道141号線紀宝分署から小学校へ向かう坂道(歩道なし)⇒歩道設置に向けて調整中
- ② 県道141号線紀宝分署から小学校へ向かう坂道頂上付近の側道(急な坂道)
⇒路面すべり防止のため落ち葉のそうじ
- ③ 県道141号線とショートステイセンター「つどい」横農道との合流地点(横断)
⇒交通量調査実施予定、足形マーク
- ④ 神内会館前の横断歩道とその付近の山の横の道路(歩道なし)⇒除草と溝蓋の点検
- ⑤ 神内会館前交差点付近の歩道(雨天時の浸水)⇒計画的河川工事の実施
- ⑥ 子安橋から神内神社の川沿い道路(川への転落)⇒反射鏡が設置された。通行場所の指導と注意喚起の徹底
- ⑦ 紀宝バイパス上高架道路の交差点(横断)
- ⑧ 小学校北門から上野方面坂道(雨天時大きなたまりと街頭)⇒排水のための路面改修



【裏面もご覧ください】

『全国学力・学習状況調査(6年生)』および『みえスタディチェック(4・5年生)』の結果をふまえて

4月に実施された学調の結果が公表されたことと、同時期に実施した4・5年生のみえスタの結果を併せて、夏季休業中に全教職員で分析を行いました。今後の授業や家庭学習、生活習慣等について課題を明確にし、改善に向けての方向性を決め、2学期以降、以下のような取組を進めています。ご家庭の方でも、ご理解とご協力のほど、お願いいたします。

□今後学校として力を入れて取り組むこと

<国語>

* (漢字)

・確実な定着のため、単語の読み方だけでなく、意味を理解したうえで練習する必要があります。同音異義語も含めて、文章の中で使う練習を、第3学年から計画的に取り組んでいきます。

* (書くこと)

・日記や作文において、習った漢字を使い、文章を書く習慣をつけていきます。また、主語と述語の関係や接続語を意識しながら話したり、文章を書いたりする習慣をつけていきます。

・要旨を限られた字数で提示したキーワードを用いてまとめる活動を取り入れていきます。

そのために日常の授業の振り返りや感想等の自分の考えを文章にする時間をしっかり確保し、示された字数でまとめていく場面を多く取り入れていきます。

・自分の書いた文章(主張)が、相手伝わるか読み直し、推敲したり、友だちをと読み合いアドバイスをしたりする時間も確保していきます。国語科だけでなくすべての授業で、自分の考えを文章にする場面を多く取り入れ、自分の書いた文章が、相手にきちんと伝わるかどうかを読み直し、推敲する習慣をつけていきます。

・条件を満たした記述になるよう、日常の授業や振り返りの中で、「①文の前後につながる記述」「②キーワード等を満たした記述」「③資料やアンケートの情報を根拠とした記述」「④見本や例文を基にした記述」の4点について意識した課題の設定を取り入れていきます。

* (伝え合い・聴き合うこと)

・表現が優れた作品に触れ、その表現や叙述について自分の考えを広げたり、深めたりする場面を授業の中に入れ、それらを伝える場面を設定していきます。

・お互いの考えや文章を伝え合い、相手の考えに対して自分の考えや感想(良さや修正点等)を聴き合う活動を取り入れます。

・相手の考えや感想から自分の考えを修正し思考を深める活動を日常的に行います。

* (読むこと)

・特に、説明文の教材を使って学習をする場合、文章の構成に着目して読み取りをすすめます。

その際、国語用語を使い、どのような構成なのかを説明できるようにしていきます。

* (朝の学習・家庭学習)

・漢字学習においては、意味や活用も合わせて学習し、日常的に定着に向けて取り組みます。

・自主学習の取り組みを継続していきます。また、学びばセット(三重県教育委員会作成ワークシート)やライズ eライブラリアドバンス(学習支援サービス)を活用していきます。

・教室に色々なジャンルの本を置き、朝の学習では毎週木曜日を全校読書の日とします。また、読書記録をつけたり、短い感想文や読んだ本の紹介文を書いたりするなど、読書に慣れ親しむ活動を取り入れていきます。『家読』の取組を継続的に実施できるよう、呼びかけを行い、様子を紹介していきます。



〈算数〉

* (算数科の授業)

・問題をよく読み、何が問われているのか理解し、問題に取り組む習慣をつけていきます。そのために、操作活動を低学年だけでなく全学年で取り入れ、絵や図(かけわり図等)や数直線等に問題の意味を表したり、量感を身につけたりすることを習慣化していきます。



・立式の意味を言葉で説明する機会を設けていきます。

・他者の考えを基に思考を深められるような課題を設定(課題の工夫)し、考えながら聴き合える授業づくり(わからないことや困ったことを伝え合ったり、もう一度課題の文章に立ち戻ったり、友達の考えから思考を深めたりする等)をしていきます。



・聴き合う授業を一層進めるとともに、問題解決のための筋道立てた考え方のよりより説明の仕方や考えの書き表し方を共有する活動を進めていきます。

・全体で共有したり、聴き合ったりした後、もう一度振り返る活動を取り入れ、自分の考えを訂正したり、新たな課題を見つけたりすることを通して、学習の定着をめざしていきます。

・割合や図表・図形等、日常生活に活かせる課題を意識的に設定し、生活と関連付けた学習の定着に取り組んでいきます。

・操作活動を取り入れ量感を伴った理解と定着をめざし、ペア学習やグループ学習を活用して聴き合い、学び合うことで一人ひとりが思考し、課題を解決できるよう取り組んでいます。実生活と関連性のある問題の工夫や思考したことを言葉や文で書いて相手に伝える授業の工夫を日常的に行い、定着をめざした取組を進めていきます。

* (朝の学習・家庭学習)

・学習の定着を図るため、学習单元だけでなく既習の学習を復習できる家庭学習を提供していきます。

・複眼的な思考を要するチャレンジ問題に取り組んでいく機会を作ります。

・自主学習の取り組みを継続していきます。また、学びばセット(三重県教育委員会作成ワークシート)やラインズeライブラリアドバンス(学習支援サービス)を活用していきます。

保護者の皆様へお願い

学調では、対象問題数全30問のうち無回答率0.0%が本校では20問と、全体の3分の2を占める結果となり、ねばり強く取り組んだ結果といえます。また、記述式の問題に対して、国語では90%、算数では70%の児童が「すべての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答しています。

児童質問紙からも、基本的な生活習慣・学習習慣をはじめ、概ね良好で肯定的な実態を把握することができました。6年生は着実に学習状況において、力を伸ばしていることが確認できました。このような調査結果は、子どもたちの普段からの学習への頑張りによるところが大きいですが、その背景には、安定した家庭環境やつながりを大切にする地域の存在があり、子どもたちは安心して学びを深めることができているのではないかと考えられます。

今後とも学校と家庭が連携し、学校教育活動、家庭学習の習慣等をよりよいものにしていきたいと存じますので、下記の3点について、ご家庭でのお取り組みをよろしくごお願い申し上げます。

① 引き続き、規則正しい生活リズムを定着させましょう。

- ・十分な睡眠時間の確保や朝食の摂取など、「早寝・早起き・朝ごはん」の励行
- ・テレビゲーム・携帯電話・スマートフォン・コンピュータなどの使い方についての約束

② 家庭で学習(読書)する習慣を定着させましょう。

- ・学習時間の設定(宿題や復習など自分でメニューを考える)
- ・神内小版「学習の手引き」の活用と、神内小「家読の日」の推奨

③ 社会に関心を持つ力を身につけさせましょう。

- ・テレビのニュースや新聞記事等を話題にした会話